

主 な 内 容

織産連常任委員会、技能実習適正化・取引適正化推進両委員会開催／織産連「繊維産業における責任ある企業行動ガイドライン」策定／経済産業省「繊維産地ネットワーク協議会」設置／東京インターナショナルギフトショー出展予定／令和4年度当初予算「事業承継・引継ぎ補助金」公募中／主な補助金の公募スケジュール／綿工連産地・企業の新聞記事一覧(2022年7月)／特許公開情報

●織産連常任委員会、技能実習適正化・取引適正化推進両委員会開催

7月12日(火)、東京日本橋において、経済産業省製造産業局山下局長、橋本審議官、田上生活製品課長らが出席し、日本繊維産業連盟の常任委員会が開催された。

田上生活製品課長から5月に公表された繊維ビジョンの説明等ののち、事務局から「繊維産業における責任ある企業行動ガイドライン」について説明が行われ、了承された。

会議後半は、出席の常任委員団体から、各業界の現況や経産省に対して要望等の意見交換が行われ、綿工連からは平松会長が、綿・スフ織物業界の現況や工連の取組のほかに経産省に対して、①大幅な電気料金の上昇により採算が合わないので、電気料金の助成や値下げの対策、②償却資産に係る固定資産税のさらなる減免、事業所税の根本的な見直し、もしくは一時凍結の総務省への申し入れ等大きく2点を要望した。

常任委員会終了後、技能実習適正化・取引適正化推進両委員会が開催され、各団体の取り組み状況等について報告された。

●織産連「繊維産業における責任ある企業行動ガイドライン」策定

7月28日、日本繊維産業連盟は人権分野において日本の繊維産業が社会的責任を果たすためのガイドライン「繊維産業における責任ある企業行動ガイドライン」を策定したと発表した。

2021年9月にILO駐日事務所協力の下、「責任ある企業行動ガイドライン策定委員会」を設置、委員会と勉強会を開催するとともに、UAゼンセンとの労使対話を実施して策定したものの。

ガイドラインでは、昨今注目度が高まっている人権問題、その中でも特に労働問題に焦点を当て、その意義・必要性を整理するとともに、「責任ある企業行動」を実現するための手法であるデュー・ディリジェンス(企業が人権を尊重する責任を果たすために、人権に対するリスクを特定し、適切な対策を策定・実行する継続的なプロセス)について、その手続きも含めて解説する。この種のガイドラインは、これまではサプライチェーンを管理する発注者の立場から作成されてきたが、同ガイドラインは、日本の繊維工業の特徴を踏まえ、受注者としてサプライチェーンの末端に位置する中小・小規模企業の経営者に軸足を置いた内容となっている。

ガイドラインは4部構成で、①ガイドラインの目的・概要について、②受注者の立場にある中小・小規模企業が最低限確認すべき事項、③サプライチェーンを管理する発注者の立場で確認すべき事項、④デュー・ディリジェンスの手続きについて、項目別に解説。また、確認すべき事項については、個別の課題ごとにリスト化し、それをチェックすることで容易に実態を把握できるようにすることで、中小・小規模企業にも使いやすいよう配慮されている。

本ガイドラインは今月中旬に公表予定で、団体会員を通じて説明会を開催するなど周知を進める。今後は英語版も作成し、織産連HPで公表の予定。

●経済産業省「繊維産地ネットワーク協議会」設置

経済産業省製造産業局生活製品課は、本年5月18日に公表された「繊維ビジョン」のうち、戦略分野I「新たなビジネスモデルの創造」において、産地を有する地方公共団体で構成される「繊維産地ネットワーク協議会」を設置、その第1回協議会を7月27日に開催した。

地方公共団体による率直且つ自由な意見交換を確保するために会合は非公開となるが、資料及び議事概要は繊維産地ネットワーク協議会のホームページに公表の予定。なお、第1回協議会の配布資料は下記 URL に掲載されている。

○繊維産地ネットワーク協議会

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/textile_nw/001.html



●東京インターナショナルギフトショー出展予定

9月7日(水)から9日(金)の3日間、「第94回東京インターナショナルギフトショー秋2022」と「第12回 LIFE×DESIGN」が東京ビッグサイトで開催される。綿工連産地企業では遠州織物工業協同組合で杉浦テキスタイルと辻村染織、奈良組合の笹田織物と丸山繊維工業が出展する。

なお、「JFW-Japan Creation 2023」と「JFW-Premium Textile Japan 2023 A/W」は、11月1日(火)～2日(水)に東京国際フォーラムで開催される。

●令和4年度当初予算「事業承継・引継ぎ補助金」公募中

中小企業庁は、7月25日から令和4年度当初予算事業「事業承継・引継ぎ補助金」(予算



額16.3億円)の申請受付を開始した。申請は7月25日(月)～8月15日(月)の予定で、電子申請(Jグランツ)のみの受付となる。

今年度の事業承継・引継ぎ補助金は下記3つの類型になる。

【経営革新事業】 補助率: 1/2 補助上限: 500万円以内

事業承継やM&Aを契機として、経営革新(事業再構築、設備投資、販路開拓等)へ挑戦に要する費用を補助

(補助対象経費: 設備投資費用、人件費、店舗・事務所の改築工事費用等)

活用例: 新しい商品の開発やサービスの提供を行いたい

新たな顧客層の開拓に取り組みたい

今まで行っていなかった事業活動を始めたい

【専門家活用事業】 補助率: 1/2 補助上限: 400万円以内

M&Aによる経営資源の引継ぎを支援するため、M&Aに係る専門家等の活用費用を補助

【廃業・再チャレンジ事業】 補助率: 1/2 補助上限 150万円以内

再チャレンジを目的として、既存事業を廃業するための費用を補助

○事業承継・引継ぎ補助金 Web サイト <https://jsh.go.jp/r4/>



●主な補助金の公募スケジュール

a) 中小企業等事業再構築補助金

第7回: 8月下旬申請開始予定 (7月1日公募開始)

第8回: 10月頃公募開始予定



b) ものづくり補助金〔一般型・グローバル展開型〕

第11次申請: 5月26日(木)～8月18日(木)



c) 小規模事業者持続化補助金

第9回受付締切: 9月20日(火)

第10回受付締切: 12月上旬予定

第11回受付締切: 2023年2月下旬予定

商工会連合会地区



商工会議所地区



d-1) IT導入補助金(通常枠)

5次締切: 9月5日(月)予定

6次締切: 10月3日(月)予定



d-2)IT導入補助金(デジタル化基盤導入枠)

9次締切: 8月22日(月)予定

10次締切: 9月 5日(月)予定

11次締切: 9月20日(火)予定

12次締切: 10月 3日(月)予定



d-3)IT導入補助金(セキュリティ対策推進枠)

1次締切: 8月9日(火)予定~9月5日(月)予定

2次締切: 10月3日(月)予定



※新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者への支援パンフレット(随時更新)

<https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/pamphlet.pdf>

●綿工連産地・企業の新聞記事一覧(2022年7月)

繊維ニュース

- 7月 1日 遠州織物工協組 新理事長に瀧本氏
- 7月 1日 播州織産地の遠孫織布 播博売上高でトップ3に 個性的な生地が好評
- 7月 4日 古橋織布 自社製品の発信に注力 知名度向上で若手人材確保(遠州)
- 7月 4日 三備産地 コストアップが懸念材料 コロナ禍前まで戻ったが……
- 7月 5日 木糸で循環型事業モデル サーキュライフ 和紙の布(大阪南部)と協業 CFは目標超過
- 7月 6日 加西市と連携協定 ロゴスコーポレーション(播州)
- 7月 6日 ショーワ 岡山産デニムを小ロットで シタテルクラウドに出店(岡山)
- 7月 7日 三備ユニフォームフェア タカヤ商事 7月12~15日 福山ビッグ・ローズ(備中)
- 7月 7日 篠原テキスタイル 新社長に篠原由起氏(広島)
- 7月 8日 後継者のいる工場 8% 平均年齢 62~63歳 播州織工業組合調べ
- 7月11日 三備ユニフォームフェア 値上げが最大の焦点
- 7月11日 『ズームイン』 篠原テキスタイルの社長に就いた篠原由起氏 産地を賑やかに(広島)
- 7月11日 繊維マイスター 認定募集スタート 期間は9月9日まで(岡山・備中)
- 7月13日 <特集 播州織産地> 改革を成果につなげる時
播州織工業組合 堀口理事長 電気代の上昇懸念
- 7月13日 『産地往来』 播州 「第3回播州織産地博覧会」 市場調査の好機



- 7月13日 緊急企画 円安を生かせ! 輸出拡大の好機を逃すな 日本綿布 生地品質と総合力が強み(備中)
- 7月13日 ディスカバーリンクせとうち 産地滞在型の研修プログラム実施 カイハラを見学(広島)
- 7月14日 児島ジーンズストリート 客足徐々に回復 お盆期間から秋口に期待
- 7月15日 奈良県繊維連合会 SDGsの取り組み発信 多彩なアップサイクル製品
- 7月15日 三備ユニフォームフェア “意外性”で活路開け タカヤ商事 優れた柔軟性と軽量を両立(備中)
- 7月21日 主力のジーンズが高評価 ブルース「クロ」 吉河織物(備中)などからデニム生地を調達
- 7月26日 『クローズアップ』丸松織布 平松佐斗常務 強い使命感、医師から繊維の道へ(尾北)
- 7月26日 『きいボード』 生地青空市 播州織産地博覧会
- 7月26日 1~6月の岡山県織物生産 前年同期比7.7%増 全ての月で前年上回る(岡山県工業協組纏め)
- 7月29日 篠原テキスタイル 小学生が工場を見学 SDGsについて学ぶ(広島)
- 7月28日 <特集 全国テキスタイル産地 I> 追い風も吹き始める
『工連トップインタビュー』綿工連 平松会長 産地、業界の枠超えて
「古橋織布」 発信強化し若手確保へ(遠州)
「東洋織布」 事業ポートフォリオ強化(知多)
「新美」 白生地のフル生産続く(知多)
「千秋織布」 安定した品質の生地作る(尾北)
- 7月29日 <特集 全国テキスタイル産地 II>
「川島織布」 顧客と協働し商品開発(高島)
「木村織物」 来春夏も見通し明るめ(高島)
「駒田織布」 幅広い対応力生かす(高島)
「坂尾織物」 即納体制が強み(高島)
「杉岡織布」 迅速対応、納期短縮に力(高島)
「高麻」 『琵琶の葦布』でSDGs貢献(高島)
「本庄織布」 充実の独自開発品(高島)
「マスダ」 天然のサステ生地開発に力(高島)
「高島晒協業組合」 来春夏見通しは明るめ
「池藤織布」 持続可能な織布工場へ(大阪南部)
「ショーワ」 国内外で販路開拓を(岡山)
「丸進工業」 『倉敷帆布』発信に力(岡山)
「クロキ」 サステ対応し輸出強化(備中)
「日本綿布」 ファクトリーショップをオープン(備中)

「篠原テキスタイル」 サステイナブルなデニム拡充(広島)

<夏本番 産地の7~9月を読む>

- 7月19日 高島 稼働状況はまだら
- 7月20日 播州 来春夏へ緩やかに回復か
- 7月21日 尾州 コスト高と糸不足が課題
- 7月27日 泉州・大阪南部 受注堅調も糸不足顕在化
- 7月28日 遠州 一部堅調も全体は厳しく
- 7月29日 三備 生産量戻るも原料高騰を懸念

織研新聞

- 7月 5日 日系7社が上海で素材展同時開催 日本素材への関心高く 植山貿易出展(播州)
- 7月 7日 第44回織研賞贈呈式 世界へのアピール力で受賞 <特別賞> 貝原良治カイハラ元会長(広島)
- 7月11日 「スカル&ジェイド」バイカーとキャンパーのデニムショーツ クロキの10.2^{mm}ハイパワーストレッチ生地使用(備中)
- 7月12日 デニムメーカーのショーワが初出店 シタテルの生地・附属管理購入機能(岡山)
- 7月26日 維研の涼感生地「クールシルバー」 東京シャツで採用(江南)
- 7月27日 『face』 篠原テキスタイル 篠原由起社長 生地にもっと付加価値を(広島)

●特許公開情報

2022年7月に公開された織物の製造方法に関する、特許公開情報です。

特許電子図書館 HP: <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

検索範囲: 4L048, D03D1/00~D03D27/00

[特許公開情報]

(2022年7月公開分)

<7月分>

項番	文献番号	出願人	発明の名称
1	特開 2022-098319	(株)豊田自動織機	繊維構造体、及び繊維強化複合材
2	特開 2022-099277	ユニチカ(株) ユニチカガラスファイバー(株)	ガラスヤーン、ガラスクロス及びガラスヤーンの製造方法
3	特開 2022-100282	バルメット テクノロジーズ オサケユキチュア(フィンランド)	産業用テキスタイル
4	特開 2022-103024	興和(株)	高吸水性タオル



5	特開 2022-104748	広繁 勝也(神奈川県) 広繁 孝一(神奈川県)	メッシュを基材とした導電回路基板
6	特開 2022-104790	財団法人工業技術研究院	腱及びノ又は靱帯に使用するための組織 スキャフォールド
7	特開 2022-104847	武藤(株)	複合糸、及びその糸を用いた織編物
8	特開 2022-105414	東洋紡S T C(株) 日本エクスラン工業(株)	芯鞘構造紡績糸、該紡績糸を用いた嵩高 織編物、及びそれらの製造方法
9	特開 2022-109196	スミノエ テイジン テクノ(株)	自動車用内装布帛
10	特開 2022-109419	東レ(株)	織物
11	特開 2022-109879	東レ(株)	導電繊維およびそれを用いた被服
12	特開 2022-109899	ユニチカトレーディング(株)	導電性複合糸
13	特開 2022-110689	ヤマハ(株) カジナイロン(株)	導電性糸及び伸縮配線付き布地
14	特許 7098200	ヤマウチ(株)	熱プレス用クッション材
15	特許 7100220	ユニチカトレーディング(株)	二層構造紡績糸及び織編物
16	特許 7101391	(株)レグルス 都化工(株)	無炎化処理が施された耐炎化繊維製品及 び該耐炎化繊維製品の製造方法
17	特許 7101949	松文産業(株)	多重織物

7月の行事

7月12日 …………… 織産連常任委員会、技能実習適正化推進・取引適正化推進委員会(東京・日本橋)

8月以降の行事

8月 6日 …………… 綿工連綿's倶楽部委員会(大阪・綿業会館)

8月22日 …………… 第143回繊維通商問題委員会《オンライン》

11月 1～2日 …… JFW-Premium Textile Japan 2023 A/W、JFW-Japan Creation 2023
(東京国際フォーラム)

いいものはきもちいい。
——こだわりの品質、ジャパン・コットン。

JAPAN
COTTON



Pure Cotton



綿100%
「ピュア・コットン・マーク」

JAPAN
COTTON



Pure Cotton

綿混率50%以上
「コットン・ブレンド・マーク」

JAPAN
COTTON



Cotton Blend

日本で生まれて日本に育った私たちは、日本人だけに分かる心地よさを知っています。たとえば、春の日溜まりのぬくもり、夏の打ち水の涼しさ、障子からもれる明かり、鈴虫の音色。日本人だからこそ分かる本当の快適さを、しっかりと保証するための印を作りました。
ジャパン・コットン・マーク。日本国内で製造した高品質の綿素材を使用した製品だけに、その優れた品質を保証して添付されます。